

よこはま動物園および周辺におけるトンボ相 2022-2023

○有馬 一，船藤 史，太田 真琴，宮本 知佳，鈴木 義明，
尾形 優，古郡 翔也，天野 亜希，七里 浩志¹

¹横浜市環境科学研究所

よこはま動物園および周辺地域のトンボ相を 2022-2023 年にわたり調査し，過去の調査とも比較することで，現在の自然環境の水準を評価した．35 種が確認され，うち 16 種が神奈川県レッドデータブック掲載種であった．調査地別では，ころころッジ前の池および自然体験林が最も多くの種数を有し，次いで西側遊水池が多かった．さらに西側遊水池は絶滅危惧種が多数生息しており，重要な生息地であることが明らかとなった．一方，過去の調査との比較により，遷移による乾燥化など環境の変化による影響が懸念される種も見受けられた．今後は，継続的な調査によるモニタリングおよび地域との連携による保全活動を進め，横浜市内の生物多様性の保全に貢献していきたい．